

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立宮中学校		
実 施 期 間	平成26年11月1日(土)～11月14日(金) (宮小中学校公表会 10月24日(金))		
実 施 概 要	①公表会への授業参観 ②アセアン生徒との交流 ③一之宮町文化祭参加(合唱披露) ④臥龍桜大賞展作品を廊下に展示 ⑤PTA資源回収		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	50 人	計 70 人
	地域関係者	20 人	
実 施 状 況	①公表会への授業参観(宮小中学校が連携し、その成果を公表会にて披露する。他校の職員他、地域、家庭へ案内を出して、参観を呼びかけた。) ②アセアン生徒との交流(英語で郷土資料の紹介をインドネシアの中学生にするなどの授業交流をはじめとした交流を行った。) ③一之宮町文化祭に参加する。(3年生が文化の日に、地域の文化祭に参加し、合唱を披露した。) ④過去の臥龍桜大賞展作品の一部を廊下に展示し、生徒はじめ地域の方に見ていただいた。 ⑤年間に3回、PTA及び子供会の資源回収で、地域の連携のもと、中学生が地域を巡回して資源回収の手伝いの貢献をした。		
成果及び課題	○ 宮小中学校における今年度の教科指導のあり方や確かな力の育成について、その連携の必要性、よさや改善点について意見や評価をいただいた。 ○ 宮中学校の郷土学習のよさや必要性について、保護者、地域の方々に生徒の姿を見ていただき、理解をしていただいた。 ○ 生徒も地域に積極的にかかわることで、郷土を大切にする気持ちが育ってきた。 * 小中学校連携のもと、さらに一層の教科指導の充実を図る必要性があることが、職員に共通理解ができた。 * 郷土学習の必要性は理解されているが、総合的な学習の時間も少なく、郷土の学習など体験的な学習の場が少なくなっている。		